



大津市立北大路中学校  
第1学年学年通信

第 1 1 号  
2010. 11. 5 (金)

## 中間テストの結果と講評・アドバイス

中間テストの結果が返ってきましたが、あなたは次に生かすためのヒントをみつけていますか？ 中間テスト前(10/26)に発行された「校長室だより」を読みましたか？そこには次のように書かれていました。

中間、期末テストのような場合は、授業中に先生から、「大事なこと」「覚えておくこと」「考え方」などについて話をしてもらっているはずですが、ノートやプリントを見て、その時のことをまず思い出すことができたらしめたものです。ところが、先生の話をおそらく覚えていないことがあります。「聞いていなかった」のかもしれませんが。

教科の授業は、集中して聞き、積極的に参加をしていけば、それなりに満足できる結果を得ることができますが、往々にして、先生の話をお聞いていないことから、「わからなくなる」つまづきが始まります。しかし、悲しいことにその時は、自分がつまづいていることに気がついていませんし、気づいていてもそのままにしていることが多いのです。

中学校での学習は、積み重ねていくものが多いですので、前に学習したことを使って新しい学習に入ることがあります。前のことがわからなければ、次はもっとわからなくなる場合があります。



試験勉強の対策は、時間がかかるかもしれませんが、①まずは、テスト範囲まで教科書を読むこと、②ノートや配られたプリントを読み直し、実際にもう一度自分の力で書き直したり、解き直すこと、③テスト範囲の練習問題をできるだけ解くことです。その際に、わからないところがあれば、「点数アップにつながる」と喜んで、先生や友達に、とにかく質問をすることです。

「わからないところがわかるようになる」のは、大きな進歩です。だからこそ、わからなかったところをひとつでも、ふたつでも見つけることはその第一歩なのです。

校長室だより ～わからないところを見つける～より

中間テストが返ってきた今、あらためて読んでみると、次に生かすヒントがたくさんあるのではないのでしょうか。結果だけにとらわれずに、2学期のこれまでを振り返り、来週からの授業や家庭学習に生かしていただけるようにしてください。



失敗に気がいたら(反省できたら)シメタと思しましょう。

成長できるチャンスです！

| 各教科の講評とアドバイス |  |
|--------------|--|
| 国語           | 手紙の形式についてはおおむね理解できているようでしたが、「敬具」や「御中」などの慣れない言葉がしっかりと覚えられていない人が目立ちました。文節の役割の名前が答えられても、修飾・被修飾の関係がとらえられている人は少なかったです。また答えられるはずの問題も、文節の単位を正確に抜き出せずに得点できなかった人もたくさんいました。1学期の文法の内容から復習し、次の文法の学習にそなえましょう。文章読解の問題は、ずいぶん正解が増えるようになりました。△でなく○をもらえるまでの一工夫を考えましょう。       |
| 数学           | 座標の読み取りや、比の値などの問題は良くできていました。ですが、符号や解答の書き方(方程式は $x =$ )、約分出来ていないなどのケアレスミスが目立ちました。問題をよく読み、解答の見直しをする癖をつけましょう。今回の範囲「比例」は次回範囲の「反比例」とともにもう一度出題します。テストで間違ったところを丁寧に復習しておきましょう。また、テスト直前に慌てるのではなく、日頃からコツコツとワークに取り組むようにしましょう。   |
| 社会           | 授業でやったことを中心に、基礎・基本を出題しました。ノートを見直し、きちんと復習した人とそうでない人との差が出ました。都道府県名については完全に覚えましょう。地形については、主な山脈や河川は確実に自分のものとしましょう。黄河や長江に「川」をつける誤りが目立ちました。<br>期末に向けては、「覚える」ことに積極的に挑戦しましょう。書いて、声を出して繰り返して、覚えましょう。  |
| 理科           | 今回は、1学期末に学習した「植物分野」と「光と音の分野」からの出題でした。範囲は広がったのですが、植物分野は練習問題プリントと夏休みのワークからの出題で、しっかり復習した人は正答率も高かったです。また、光に関する問題は、1年生の学習の中で難しいところでもあります。もう一度、練習問題プリントや補充問題プリントでしっかり復習するようにしましょう。ポイントは、「反射」「屈折」「凸レンズによってできる像」です。  |
| 英語           | 少しテスト範囲が広がったのですが、授業に集中して取り組み、プリントやワークを使ってしっかり予習、復習できていた人はよく理解できていたと思います。基本的なbe動詞と一般動詞の違いや、3単現のSのつく場合や疑問文・否定文の形を理解できるように繰り返し復習しましょう。またリスニングが苦手な人はCDやラジオ・TVを利用して慣れるようにしましょう。単語や本文を覚える方法は、カードを作ってこまめに覚えるようにしたり、日本文から英文が書けたり、英文を何度も読んだりするしかありません。こつこつがんばりましょう。 |

